

(2) 市長の財政方針

市長就任以来、効率的で効果的な自治体経営に挑戦し続けてきましたが、平成23年度も引き続き「1円まで活かす市政」、「市民に役立つ行政サービス」、「流山の可能性を引き出すまちづくり」の3本柱のもと、行政効率をさらに高めながら、良質な街をつくりあげるために、果敢に挑戦して参ります。

そして、流山市の成長戦略とも言える次の3つの経営方針の下に平成23年度予算を編成しました。

1番目に、「定住人口の増加と交流人口の増大」に向けて取り組みます。

2番目に、永住したい街として選ばれる「良質なまちづくり」に取り組みます。

3番目に、「効率経営による健全財政の堅持」に取り組みます。

しかしながら、長引く経済不況の影響を受け、市税収入の減少が見込まれるなど、本市の財政は非常に厳しい状況にあります。

こうした状況下であっても、後期基本計画の諸事業を着実に実施し、市民サービスを提供していくために、創意工夫による歳入確保と同時に、一層の行政効率の向上に努め、歳出の抑制を図ることで健全財政を堅持することが必要となります。